

```

#####
#
#      *          **          *****          *****          ****          #
#      *          **          *          *          *          *          *          *          #
#      *          *   *          *          *          *          *          *          *          #
#      *          *   *          *          *          *          *          *          #
#      *          *   *          *          *          *          *          *          #
#      *   *          *   *          *****          *          *          *          *          #
#      *   *          ******          *          *          *          *          *          #
#      *   *          *   *          *          *          *          *          *          #
#      ****          *          *          *          *****          ****          #
#
#####
# 日本公開天文台協会回報
#      JAPOS : Japan Public Observatory Society Circular
#                                     Number 1
#                                     2006.07.22
#
#####

```

はじめに

去る 6 月 14 日から 16 日にかけて、仙台市天文台のみなさまのお世話で『日本公開天文台協会の第 1 回年大会』を開催することができました。参加者も 80 名を超え、盛大なものになりました。関係のみなさまに心よりお礼申し上げます。

さて、この年大会の重要な役割は、この 1 年かけて議論をしてきた会則案や事業案を最終的にまとめあげることにありました。幸い、いくつかの修正はありましたが、なんとか会則の形ができあがり、名実共に日本公開天文台協会のスタートが切れたと考えています。ご協力に心より感謝申し上げます。

少し気になっておりますのは、会員数がまだまだ少ないことです。このままでは大した事業ができるわけがありませんが、白書作りだけはやりとげたいと考えていました。実態を知ることが本会の活動の原点になると思っているからです。幸い、美星天文台の川端氏が編集委員長を積極的に引き受けていただき、多くの編集員がサポートできる態勢が生まれ、白書作りが着々と進んでいます。

公開天文台を取り巻く環境は決して明るいものではありませんが、宇宙を知り、地球を知り、生命を知るとは、我々人類を真に豊かにしてくれることは紛れもない事実です。宇宙を学ぶことの重要性を地道に訴えることによって、現状を打開していきましょう。そして一人でも多くの人が、本物の天体と対話ができる公開天文台の充実と発展に尽力しようではありませんか。

ややもすれば余裕のほとんどない施設ばかりかもしれませんが、私たちは互助の精神も会の重要な柱に据えました。互いに励まし合い、支え合う会として大きく発展する礎をぜひつくりたいと考えています。会員のみなさまのご協力を心よりお願い申し上げます。

日本公開天文台協会会長 黒田 武彦
兵庫県立西はりま天文台公園

雑草のように進んでいこう

～みんなで支える天文台を目指して～

ダイニックアストロパーク天究館 高橋 進

日本中にある数百の公開天文台。それぞれが悩みを持ちながらも日々の活動を進めておられる事と思います。やはり実際の運営となるときれいな話ばかりではありません。私のいる施設も問題山積です。そんな天究館の裏話を少しお話したいと思います。

1. 天究館の歴史

ダイニックアストロパーク天究館は 1987 年 8 月にオープンした民間公開天文台です。ダイニック株式会社の当時の社長の坂部三次郎さんは若い頃の夢は天文学者になることでした。しかしその夢はダイニックの創業者の父親の「会社を継いでくれ」の言葉によって諦めざるをえませんでした。しかし出版業界でのつながりから村山定男先生と親交を深めるようになり、かつての夢をかなえようと滋賀県の工場に口径 60cm 反射望遠鏡を据えた天文台を作ったのでした。しかしさすがに自分が天文学者になることは無理な話で、天文台を広く公開し新たな天文学者を育てていくことを目指したのでした。



図 1 . 天究館の建物

こうして誕生した天究館は天文普及や各種の観測活動を進めていきました。しかしその運営に影がさしてきたのはバブル崩壊に続く経済不況の波でした。そして決定的だったのは2001年の三次郎さんの突然の死去でした。それからは嵐の中の小船のような日々でした。職員は減らされ、事あるごとに工場への応援に入らざるをえません。もちろん予算は毎年減らされていきます。ダイニク自体も赤字経営でしたので、従業員の給料もカットされます。組合からは会社の無駄のシンボルとして事あるごとに天究館は名指しされました。地域貢献や企業文化、会社のPR、それに比べて経費は決して大きくないと言っても、金銭的な利益を生み出さない限り何の言い訳にもなりません。そして2003年春に突然に東京本社から「閉鎖」との通達が来ました。

上部からの命令ですから無視するわけにはいきません。しかし何とかしたいと思い多賀町教育委員会に行き、観望会とコンサートなどいくつかの行事を主催してほしいと話をしました。担当者は金は出せないだろうが名前だけは何とかできるようにしようと言ってくれました。それを聞いてすぐに会社に話をしました。多賀町が天究館を貸してほしいと言っている。ダイニクは何もなくていいから観望会やコンサートのときだけ天究館を多賀町に貸してやってほしい。ダイニクとしても実際には天究館をつぶしたくはないという思いもありこの話は通りました。こうしてダイニクは天究館をつぶさないが閉鎖し、多賀町が行事の主催をするという何とも曖昧なことになったのでした。もちろん閉鎖ですから職員はいません。ただ維持管理のために必要に応じて作業をおこなうことになりました。私の机も工場の総務課に置かれ、夕方までは総務課員の肩書きをもらいました。

2. 官・民・ボランティアのトライアングル

こうして狐と狸の化かしあいの成果で成り立った天究館の活動は3つの組織で進められています。1つは観望会や催しを主催する多賀町教育委員会です。最近はある程度の資金援助もいただいています。主催者として多賀町をアピールできますし、一方で最近はやりの官民共同事業としても売り出しています。もう一つは施設を提供するダイニクです。主催は多賀町とは言いながら会場は「ダイニク」アストロパーク天究館です。企業の地域貢献です。最近の企業は社会的責任とかCSR(corporate social responsibility)といった事が必要とされており、そうした意味でも多少の維持費を出す価値はあるとも言えます。さらには固定資産税などの減免による節税効果もばかになりません。そんなわけでダイニクは月額数十万円の運営費を出してくれています。そしてもう一つの組織とは天究館の実際の活動を支えるボランティアの人たちです。観望会の望遠鏡インストラクターをおこなう天究館友の会、観望会の受付などさまざまな活動してくれる天究館星の会、コンサートの受付や進行を助けてくれる婦人組織めだかの学校。他にもコンサートに無償で出演していただいている音楽家の人々など多くのボランティアで天究館は成り立っています。

3. 存続のための取り組み

こうした中で館を存続させるために考えられるできる限りの手立てを進める必要がありました。まずは地域からと子供たちを集めての多賀町アストロクラブから始めていきました。ほんの十数人の子供たちですが、その子供たちを通して地域と少しでもつながればとの考えです。特にここ数年は子育て支援活動ということで教育委員会との連携で活動をアピールできました。子供たちへの働きかけに続いては大人も引き込んでいこうと考えたのが大人のための天文講座です。町会議員から区長に教師といろいろな人たちに声をかけて大人も楽しめる会作りです。

毎回テーマを決めて星の話と観望会、それが終われば2回に一度は飲み会へと続きます。もちろんマイクをにぎれば「星降る街角」に「星は何でも知っている」となるのは当然です。また天文だけでは来てもらえる人も限られてしまいます。月に一度はコンサートを開き、コンサート終了後は観望会へとつないでいきます。ともかくいろいろな手で味方をふやす。それがまず基本かと思います。

4. ボランティアとのつながり

とは言っても職員一人ではできることは限られています。その時に一緒に頑張ってくれるのはボランティアの人たちです。特に天文に関しては滋賀県は昔から東亜天文学会などで活発に活動されている天体観測者も多く、みなさんからずいぶん助けてもらうことができました。それは物理的な手助けもですが、精神的にも多くの皆さんに助けていただくことができました。

天究館を手助けしてくれるボランティアの集まりはいくつかありますが、主要なのは星の会と友の会です。星の会はもともと天究館に集まる天文ファンの団体で年間2400円の会費で例会を開いたり会誌を出したりしていました。ところがその一方では観望会そっちのけでおしゃべりばかりしている人もあり、他のボランティアの人たちからは観望会の雰囲気悪くするだけという悪評をもらったりもする会でした。ところが2003年のダイニクからの天究館閉鎖が決まったときから変わりました。そのとき私は、もう天究館はあなたたちに何もしてあげられない。だから自分たちで考えて活動して行ってほしいと話をしました。ところが職員一人の天究館では観望会もままなりません。それを見て、星の会の人たちは観望会の受付を買って出てくださいました。参加費の受け取り、みやげ物の販売、そしてお客さんが帰られるときにはみんなが声をそろえて「ありがとうございました」というようになりました。また手が空いた人は屋上で望遠鏡を操作して来られた人に星の話をするようになりました。最初はぎごちなかったものの、話をする喜びを感じたからでしょうか、みんなで星の本を読みながらいつのまにかずいぶんきちんとした話ができるようになりました。天究館の周りの雑草が伸びてくると彼らはいつもより一時間前にやってきて草刈を始めるようになりました。そして2ヶ月に一度発行する会誌「星の友」には毎号「天究館問題解決特捜隊」というページがあります。そのページの最初



図2. 星の会草刈り隊

にはいつも頭を抱えて悩む私の姿が載っています。それに続いて彼らの活動が楽しくいきいきと描かれていきます。

館長がこんな情けないことでいいんだろうかとふと思います。しかしそれが現実ですから仕方ありません。ただ天究館としてしなくてはいけないことが一つだけあります。それは天究館が彼らが助けるだけの価値ある施設であり続けることです。それは天究館の活動が天文学的にも多少なりとも価値あるものであり、地域文化の発展にも意味のあるものであり、社会にとっても意義のある施設であることです。そのため流星や掩蔽、変光星や太陽黒点と観測できるものにはできるだけ手を出そうとしています。また天文だけでなくコンサートなど文化活動なども通して少しでも地域の人たちにアピールしていこうとしています。そして天文と言う分野から環境問題にも関わっていき、またボランティアの人たちと科学や文化が私たちにどういう意味を持っているのか話し合っています。ありがたいことに夜遅くまでみんなで集まって話をしても誰からも文句を言われることはありません。そんな中で職員もボランティアも一般のお客さんも一緒になって天文や文化や私たちににとっての豊かさについて話し、考え、活動していける場としてこれからも進んでいければと思っています。恵まれた施設ではありませんが、そんなに悪い施設でもありません。昼間は誰もいなくて夜しか対応できませんが、もしよろしかったら一度遊びに来てみませんか。そしてこれからの天文施設について考えてみませんか。

ダイニックアストロパーク天究館 http://www.dynic.co.jp/astro/index_i.html

この1年立ち上げ準備に奔走して参りましたが、なんとかスタートを切ることが出来、正直ホッとしております。

今後の発展のためには会員みなさまのお力が何よりも大切です。

MLを活用して、具体的なご提案、ご意見等よろしく願います。

日本公開天文台協会事務局長 森 淳
兵庫県立西はりま天文台公園

ニュース

最先端天文学を学ぶワークショップが開催されました

7月15日から17日の日程で、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会などが主催する宇宙論のワークショップが野辺山宇宙電波観測所、清里の清泉寮を会場として開催されました。約40人の参加者は観測的宇宙論の成果やダークエネルギーの問題など、最先端の講義の聴講や実習に取り組みました。とても有意義な内容でしたが、公開天文台関係者の参加はほとんどなく、少し寂しい思いをしました。来年のテーマは太陽で、今年と同じ会場で9月に行われる予定です。
(兵庫県立西はりま天文台公園 黒田)

アストロノミー・パブに出演してきました

7月15日、三鷹ネットワーク大学(東京・JR三鷹駅前)で開催された国立天文台主催のアストロノミー・パブに森本雅樹氏と黒田のトークということで出演してきました。会場いっぱいの参加者(約30名)を前に「森本おじさんと飲んで語ろう - 宇宙人と地球人」と題したトークです。8月はお休みで、9月以降も宇宙論の杉山氏のトーク、池内紀氏と池内了氏の兄弟対決?などユニークなトークと飲み物、食べ物が用意されたアストロノミー・パブが開店するそうです。ちょっとした息抜きに皆さんも出かけられてはいかがでしょうか。詳しくは国立天文台HPをご覧ください。
(兵庫県立西はりま天文台公園 黒田)

スター・ウィーク ~ 星空に親しむ週間 ~

「スター・ウィーク ~ 星空に親しむ週間 ~」は、子どもから大人まで幅広く星空に親しんでもらうことを目的に、毎年8月1日から7日の1週間を中心に行っているキャンペーンです。1995年の開始から今年で12年目を迎えます。

この間、多くの公開天文施設、有志団体等のご協力の下、夏休み期間中に多くのスター・ウィーク協力イベントが開催されました。

スター・ウィークの開始はJAPOSの前進の「全国の天体観測施設の会」で提唱され始まった経緯があります。

今年も皆様のご参加をお待ちしています。

スター・ウィーク 2006 のキャッチコピーは「7日連続 星曜日!」。

全国から集まったイベント「情報」の他、全体イベントそして「地球の大きさをはかろう」、「星メロ アワード 2006」、「1万人のスターナイト【今、星を見ています】」、「国際宇宙ステーション観測イベント "Tracking the ISS"」などを行います。

また、「リンクバナーキャンペーン」と称し、スター・ウィークのウェブ・サイトにリンクをしてくださる協賛サイトを募集しています。



スター・ウィーク <http://www.starweek.jp/>

全国イベント一覧 <http://homepage3.nifty.com/starweek/sw06/event.html>

リンクバナーキャンペーン <http://www.nao.ac.jp/starweek/2006/banner.html>

(スター・ウィーク実行委員会 並木 光男)

西はりま天文台公園の8月のイベント情報

・スターダスト 2006in おおなで・月と星の祭典

日時：8月12日(土) 13時から翌13日(日)朝まで
 場所：兵庫県立西はりま天文台公園
 参加費：無料(申込不要)
 内容：サイエンストークショー「アポロは月に行っている！～科学とオカルトを考える～」

皆神龍太郎氏(と学会)、森本雅樹

天文クイズ大会、アクアマリンライブ、
 なゆた望遠鏡での観望会、ペルセウス座流星群観望会
 真夜中のピアノコンサート：奏者 福田直樹氏
 など

画像：<http://www.nhao.go.jp/~naito/temp/stardust2006.jpg>

サイエンストークショー
アポロは月に行っている！
～科学とオカルトを考える～
13:00～
皆神龍太郎・森本雅樹
50分/1人、観望は厚着あり。
地元伝統芸術土踊
14:30～
最近の土踊の特色をお楽しみください。
みんなで踊ろうはばタンダンス
15:00～
はばタンダンスのわらわらに飽きたら！
サイエンスマジック
不思議な風船
15:10～
スターダストコンサート
15:40～
「夜空・星空」にマッチするアマチュア演奏会
天文クイズ大会
17:30～
天文好きはまた！正解者には賞品もあり
活用可能な品大集合！
天文クイズ大会など、お土産おみやげも
楽しいお店もあります
パルセウス座流星群早見盤
観望の星の観望会
本当に星が見えるの？
専攻は自分の目で確認してください。
夏休みの親子工作教室(親子約)
親子でつくったものを紹介します。
この夏の思い出。

手を伸ばせば届きそうな星たち。
そして、その日は星に願いを伝える日。

1000000個のキラキラのペンライト
The Sky Light Show Cande Light
日本一の望遠鏡「なゆた」
観望の入場料が3000円～
望遠鏡による星の空約写

観望会
2400円
観望会開催中は、パルセウス座流星群の観望会も開催いたします。
18:10～
ペルセウス座流星群
今年は一年のうち一度だけ
観望会1回、観望約写
大会に開催いたします。

お楽しみ抽選会
19:00～
観望会終了後、会場内で抽選会を開催いたします。
抽選品は、観望会参加者の中から抽選いたします。

【主催】 兵庫県立西はりま天文台公園
【協賛】 兵庫県・信用教育委員会
【協賛】 100000人のキラキラライト実行委員会

※グループ予約を無料追加いたします。
無休休日にご利用ください。

《お申込・お問合せ》
西はりま天文台公園
TEL 0790-82-0598
E-Mail kpenka@town.sago.jp
<http://www.nhao.go.jp>

・昼間の星の観望会

日時：7月20日-8月31日 13時30分、15時30分
 場所：西はりま天文台北館 60cm 望遠鏡観測室
 参加費：無料(申込不要)
 内容：1等星などをご覧いただけます

・天文工作教室

日時：7月20日-8月31日 14時30分
 場所：西はりま天文台北館 2階
 参加費：1人1工作50円(申込不要)
 定員：20名まで
 内容：簡易分光器(奇数日)または星座早見盤(偶数日)を作ります

(兵庫県立西はりま天文台公園 内藤 博之)

2007年の主な天文現象

せんだい宇宙館 早水勉

まだ時期としては早いのですが、来年の天体位置表(海上保安庁)を入手しましたので、これをベースに2007年の主な天文現象についてまとめてみました。公開天文台の、活動予定にお役立ていただくと嬉しく思います。

2007年は、まずまず天文現象の豊富な年となりそうです。もっとも期待したいのは、「8月28日 皆既月食」でしょう。夏休みの宵の現象ですから、観察会やイベントなどとの組み合わせに絶好です。また、プレヤデス星団の星食期間も継続しており、特に「7月11日 03h 頃プレヤデス星団の食」は好条件です。

流星の情報については、JOIN(Japan Occultation Information Network)の内山茂男さん(千葉県柏市)にご教示頂きました。星食関連の予報は、私自身の好みによるもので、他に比して充実しております。流星や星食は、アマチュアが天文学に直接かかわることのできる数少ない分野ですので、多くの観測者の得られることを期待しております。

願わくば、あと周期彗星の情報も追加できればと思います。ご協力いただける方がありましたら、よろしく願いいたします。また、何かご不明なことや修正すべき点にお気づきの方がいらっしゃいましたら、ご一報いただけますと幸いです。

主な節気(2007年1月~2008年3月)

2月 4日	立春
3月 21日	春分
5月 6日	立夏
6月 22日	夏至
8月 8日	立秋
9月 23日	秋分
11月 8日	立冬
12月 22日	冬至
2008年	
2月 4日	立春
3月 20日	春分

惑星の暦(2007年1月~2008年3月)

2月 8日	水星	東方最大離角
2月 9日	海王星	合
2月 11日	土星	衝
3月 6日	天王星	合
3月 22日	水星	西方最大離角
6月 2日	水星	東方最大離角
6月 6日	木星	衝
6月 9日	金星	東方最大離角
6月 19日	冥王星	衝
7月 12日	金星	最大光度(-4.5等)
7月 20日	水星	西方最大離角
8月 14日	海王星	衝
8月 16日	金星	内合
8月 22日	土星	合
9月 10日	天王星	衝
9月 24日	金星	最大光度(-4.6等)
9月 30日	水星	東方最大離角
10月 29日	金星	西方最大離角
11月 9日	水星	西方最大離角
12月 21日	冥王星	合
12月 23日	木星	合
12月 19日	火星	最接近(中接近 視直径 15.9")
12月 25日	火星	衝
2008年		
1月 22日	水星	東方最大離角
2月 11日	海王星	合
2月 25日	土星	衝
3月 3日	水星	西方最大離角
3月 9日	天王星	合

月の暦(2007年1月~2008年3月)

新月	上弦	満月	下弦
-----	-----	1月 3日	1月 11日
1月 19日	1月 26日	2月 2日	2月 10日
2月 18日	2月 24日	3月 4日	3月 12日
3月 19日	3月 26日	4月 3日	4月 11日
4月 17日	4月 24日	5月 2日	5月 10日
5月 17日	5月 24日	6月 1日	6月 8日
6月 15日	6月 22日	6月 30日	7月 8日
7月 14日	7月 22日	7月 30日	8月 6日
8月 13日	8月 21日	8月 28日	9月 4日
9月 11日	9月 20日	9月 27日	10月 3日
		(9月 25日 中秋の名月)	
10月 11日	10月 19日	10月 26日	11月 2日
11月 10日	11月 18日	11月 24日	12月 1日
12月 10日	12月 17日	12月 24日	12月 31日
2008年			
1月 8日	1月 16日	1月 22日	1月 30日
2月 7日	2月 14日	2月 21日	2月 29日
3月 8日	3月 14日	3月 22日	3月 30日

主な天文現象(2007年1月~12月)

- 1月 4日 未明 しぶんぎ座流星群極大
3大流星群の一つだが、満月で観測条件は最悪
- 1月 7日 土星食 北海道のみ
暗縁潜入/ 釧路:04h20m
暗縁出現/ 釧路:04h41m
- 3月 4日 皆既月食 / 条件悪い
西日本のみで月没直前に欠け始める
06h30m 欠け始め
- 3月 19日 部分日食 / 条件悪い
西日本と北海道のみで微小な食分(0.1以下)
札幌 :食の最大 11h59.7m 食分 0.047
鹿児島:食の最大 11h24.5m 食分 0.033
- 4月 14日 火星食(日中)
明縁潜入/ 札幌:11h19m,仙台:11h20m,東京:11h20m,
京都:11h13m,鹿児島:11h04m,那覇:10h58m
暗縁出現/ 札幌:12h27m,仙台:12h25m,東京:12h22m,
京都:12h20m,鹿児島:12h14m,那覇:12h03m
- 4月 23日 未明 こと座流星群極大 月は上弦前。明け方の観測条件は良好。
- 5月 6日頃 みずがめ座 流星群極大 満月過ぎの月があり観測条件最悪。
- 6月 19日 土星食(日中)
暗縁潜入/ 札幌:16h51m,仙台:16h52m,東京:16h52m,
京都:16h44m,鹿児島:16h40m,那覇:16h47m
明縁出現/ 札幌:17h39m,仙台:17h54m,東京:18h01m,
京都:18h00m,鹿児島:18h03m,那覇:18h07m
- 7月 11日 03h頃 プレヤデス星団の食 月齢 26.0 好条件
- 7月 28日頃 みずがめ座 流星群極大 満月の頃で観測条件最悪。
- 8月 13日 ペルセウス座流星群極大 3大流星群の一つ。
新月で観測条件は最高。ただし、極大時刻が13日の昼間。
- 8月 28日 皆既月食 全国で見られる
17h51m 月の出前に欠け始め
18h52m 皆既食の開始
20h23m 皆既食の終了
21h24m 終了
- 10月 22日頃 オリオン座流星群極大 3大流星群に次ぐ出現数を見せる。
上弦過ぎの月があるが、明け方(月没後)は観測条件良好。
- 11月上旬 おうし座流星群極大の頃。新月前で観測条件は良好。
出現数は多くないが、ゆっくりとした明るい流星が見られる。
- 11月 18日 しし座流星群極大。多くの出現は期待薄。1時間に数個か?
上弦の月があるが、明け方(月没後)は観測条件良好。
- 12月 14/15日 ふたご座流星群極大。年間で最も多くの流星を見せる流星群。
月は上弦前で、観測条件は良好。極大も日本の夜間。
- 12月 19日 火星 最接近(中接近 視直径 15.9")

主な星食(2007年1月~12月)

1月7日	土星食 北海道のみ 暗縁潜入/ 釧路:04h20m 暗縁出現/ 釧路:04h41m
1月21日 19h36m	小惑星(72)Feronia による TYC0759-01227-1 (8.9等) の食
2月8日 19h47m	小惑星(242)Kriemhild による TYC4865-01554-1 (9.5等) の食
3月2日 21h35m	小惑星(442)Eichsfeldia による TYC0293-00188-1 (10.1等) の食
3月31日	Leo(3.9等)の食 暗縁潜入/ 札幌:01h32m,東京:01h45m,鹿児島:01h48m
4月13日 21h40m	小惑星(1096)Reunerta による TYC0308-00797-1 (9.7等) の食
4月14日	火星食(日中) 明縁潜入/ 札幌:11h19m,仙台:11h20m,東京:11h20m, 京都:11h13m,鹿児島:11h04m,那覇:10h58m 暗縁出現/ 札幌:12h27m,仙台:12h25m,東京:12h22m, 京都:12h20m,鹿児島:12h14m,那覇:12h03m
4月24日 01h56m	小惑星(1114)Lorraine による TYC5554-00351-1 (9.4等) の食
5月12日 20h24m	小惑星(419)Aurelia による TYC1353-01125-1 (10.3等) の食
5月13日 19h46m	小惑星(1867)Deiphobus による HIP 53416 (8.6等) の食
6月19日	土星食(日中) 暗縁潜入/ 札幌:16h51m,仙台:16h52m,東京:16h52m, 京都:16h44m,鹿児島:16h40m,那覇:16h47m 明縁出現/ 札幌:17h39m,仙台:17h54m,東京:18h01m, 京都:18h00m,鹿児島:18h03m,那覇:18h07m
7月11日 03h頃	プレヤデス星団の食 月齢 26.0 好条件
7月11日	17Tau(3.8等)の食 暗縁出現/ 札幌:食なし,東京:03h19m,鹿児島:03h18m
7月11日	q Tau(4.4等)の食 暗縁出現/ 札幌:食なし,東京:04h01m,鹿児島:03h52m
7月11日	20Tau(4.0等)の食 暗縁出現/ 西日本のみ 鹿児島 04h01m
7月18日 03h24m	小惑星(1070)Tunica による HIP 1783 (9.0等) の食
7月23日 01h08m	小惑星(145)Adeona による TYC6971-00826-1 (10.7等) の食
8月1日	Aqr(3.8等)の食 暗縁出現/ 札幌:22h47m,東京:22h34m, 鹿児島:22h18m
8月9日 04h06m	小惑星(15)Eunomia による TYC2404-01235-1 (9.8等) の食
9月10日	レグルス食(日中) /月齢 28.2 -- 太陽に近い 明縁潜入/ 札幌:08h43m,仙台:08h39m,東京:08h38m, 京都:08h31m,鹿児島:08h27m,那覇:08h35m 暗縁出現/ 札幌:09h48m,仙台:09h58m,東京:10h01m, 京都:09h55m,鹿児島:09h48m,那覇:09h39m
9月23日 04h41m	小惑星(392)Wilhelmina による 2UCAC 36775669 (9.9等) の食
9月30日 04h00m	火星による HIP 28510 (8.4等) の食 西日本のみ
9月30日 22h頃	プレヤデス星団の食 月齢 18.6
9月30日	q Tau(4.4等)の食 暗縁出現/ 札幌:22h37m,東京:22h24m, 鹿児島:22h17m
9月30日	20Tau(4.0等)の食 暗縁出現/ 札幌:22h43m,東京:22h25m, 鹿児島:22h20m
10月4日 20h31m	EKBO (66652)1999RZ253 による HIP 111398 (6.7等) の食
11月1日	Gem(3.7等)の食 暗縁出現/ 札幌:02h20m,東京:02h10m, 鹿児島:01h49m
11月24日 19h頃	プレヤデス星団の食 月齢 14.2
12月12日 00h20m	小惑星(2165)Young による HIP 26062 (7.0等) の食
12月12日 05h19m	小惑星(1323)Tugela による TYC0305-00676-1 (9.0等) の食

出典, 参考文献

平成19年 天体位置表 海上保安庁

新こよみ便利帳 恒星社

Occultations by major and minor planets 2007 (Edwin Goffin)

OCCULT Ver3.1 (David Herald)

協力: 内山茂男様

募集

原稿募集

日本公開天文台協会回報第二号の原稿を募集します。次回の発行日は確定していませんが、9月30日を考えています。従いまして、原稿の〆切は9月25日24時としたいと思います。奮ってご投稿下さいますようお願いいたします。

尚、発行・原稿〆切の日時等は今後変更される場合があります。その際は JAPOS ML 等でご連絡させていただきます。

編集委員

日本公開天文台協会回報の編集員を募集しております。奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

```
#####
# 編集後記 #
# 皆様のお陰をもちまして、何とか日本公開天文台協会回報の第一号を発 #
# 行することができました。ここに礼申し上げます。 (argo) #
# #
#####
```